

株式会社タイショーテクノ

経験と知識の融合で
高精度製品を供給

- 納期
- 企画力
- コスト
- ワンストップ
- 試作可
- 小ロット
- 量産

さまざまな材質、形状の部品を手がける

自動車や自転車、産業機器などの分野で使われる様々な部品を試作開発、量産する。冷間精密鍛造の高精度な仕上がりにより後工程の省略・削減を実現し、材料歩留まりの向上、リードタイムの短縮、総合的なコスト削減につながっている。国内で生産することに意義のある付加価値の高い分野にこだわり、「納期」、「品質」、「コスト」が厳しい案件も自社を高める修行と位置づけ、技術開発に挑戦している。



効率的に設備を配置している

業務内容

自転車や自動車、産業機器部品を高効率、効果的に生産

強み

必要な設備をすべて備え、独自のノウハウを駆使して高精度を実現

冷間鍛造と板金加工を中心に金型の設計・製作、周辺加工までの設備・技術を自前で持ち、これらの組み合わせで複雑な形状も高効率に実現する総合力で顧客の要求に答える。コア技術の冷間鍛造は昭和55年、まだ手がけるメーカーが少なかったころに始めた加工で、金型のパーティングラインや歩留まりのいい材料形状の設定など独自のノウハウを長い経験の中で培ってきた。現場の試行錯誤で生まれたアイデアと日本塑性加工学会などで身に付けた学術的知識を融合した柔軟な発想が試作・開発のレベルを押し上げている。高い精度要求にも対応し、加工精度100分の7mmが求められるなら、100分の5mmでの達成は当

然。社内では100分の3mmを目標に加工するという。

人材育成

高度な技術を追求し続ける人材を育成

採用は定着率の高さから「社会人経験」に重点を置く。ものづくりは未経験でも構わない。職場での継続的なOJTに加え、日本塑性加工学会や大阪工業会などの研修会への参加を支援し、必要なスキルは一から教える。親身に教えることによって信頼関係を築いて学ぶ意欲を喚起し、個人の能力を伸ばす中で技術の伝承を図っている。自己啓発と創意工夫で品質改善や原価削減に努め、さらに高度な技術を追求する人材の集まる職場が目標。定年を迎えても働きやすいように定年時の給料を据え置く賃金制度など、熟練技術を社内に保有、伝承する仕組みも整えている。昨今は中途採用でも学卒者が増え、これから担う人材が育ちつつあるという。

今後の展望

新規分野の開拓で新たなノウハウを蓄積

岡室養子社長は既存顧客との関係を大事にしなが、常に新分野の技術課題に取り組んできた。課題を解決していくことによって現場は新たな技術を蓄積し、さまざまなニーズへの対応が可能になる。もちろん既存顧客への提案力も高まっていく。今は生体インプラントなど医療機器分野への進出を目標に据える。さらに建設分野や海洋分野などまだ冷間鍛造部品が多く使われていない領域の開拓を狙い一層の精度向上に取り組んでいるほか、チタンなど難加工材に対応する技術開発にも挑戦している。

COMPANY PROFILE

株式会社タイショーテクノ

大阪26

ISO 9001

当社の歴史

軍需工場でミシンの技術者をしてきた創業者が独立し、家庭用ミシンの販売商社を立ち上げました。その後、工業用特殊ミシンの販売と部品の製造に中心を移し、さらにこの部品製造部門を独立させた「大正製作所」が当社の前身です。私が経営に携わり始めた昭和55年以降は主力加工を冷間鍛造に移行。平成18年の本社移転に伴い、外注していた金型も内製化し、競争力を高めてきました。

独自ノウハウを生かしたレイアウト設計から加工までの一貫体制により、高精度な精密冷間鍛造を低価格で実現

代表取締役 岡室 養子さん



■主な事業内容

精密冷間鍛造、金属プレス加工、金型設計・製作、試作開発

■主な取引先(納入先)

自転車部品メーカー、自動車部品メーカー、ベアリングメーカー、産業機器メーカー

住所/〒594-0041
和泉市テクノ
ステージ1-5-2
TEL/0725-53-5580
FAX/0725-53-5570
創業/昭和21年7月
設立/昭和47年7月
資本金/5,000万円
従業員/42名

<http://www.taishotechno.co.jp/>